

令和5年度(2023年度)

早おき・職場見学デー

令和5年7月27日(木)、「早おき・職場見学デー」を開催しました。

この事業は、北海道及び道教委職員の子どもが、保護者の職場を訪問し、保護者が働く姿や道庁施設等を見学し、親子のふれ合いやきずなを深めるために開催するもので、夏休み中の子どもたちの生活リズムの定着も目的としています。

本事業に参加した62名の小学生は、職場訪問時に渡す名刺づくりに挑戦。名前や学校名に加えて、趣味や特技、可愛らしいイラストを書き添えるなどの工夫をしていました。

職場訪問の準備を行っていると、鈴木知事が登場。参加者に挨拶をするだけでなく、子どもたち一人ひとりに名刺を渡すサプライズもあり、会場はわきました。

それぞれの職場では、心をこめて作った名刺交換をした後、パソコン操作を体験したり、北海道の取組について説明を受けたり、保護者のお仕事について知る機会となりました。



名刺づくりに挑戦



知事から名刺のプレゼント



職場でパソコンの操作



親子で名刺交換の練習



記者会見室を特別に見学



参加者全員で記念撮影

【参加者から寄せられた感想】

- ・お父さんが、あんなふうに仕事をしているんだ！と分かった。
- ・鈴木知事から名刺をもらうことができ嬉しかった。家族に自慢をしました。
- ・自分がパパみたいな仕事をするようになって困らないように、今のうちから正しい敬語やタブレットの使い方を知っておいたり、整とんすることにも慣れておきたい。

【早寝早起き朝ごはん運動】

道教委では、子どもたちがはつらつとした毎日を送ることができるよう、学校・家庭・地域と連携した「早寝早起き朝ごはん」運動を展開しています。運動の詳細については、ホームページをご覧ください。

[詳しくはこちらから→](#)

